

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	漁港漁場整備課長 角 敬	電話番号	0852-22-5316
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	漁港整備事業
目的	(1) 対象 漁港を利用する漁業従事者等
	(2) 意図 漁業活動が安全で効率的に行えるようにする。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁船の安全係留を可能とするために、外郭施設（防波堤等）、係留施設（岸壁等）を整備</li> <li>・漁業の拠点施設や、漁具の修理・保管場所などを確保するため、漁港施設用地を整備</li> <li>・漁獲物の搬出輸送をスムーズにし、流通時間の短縮を図るため、臨港道路を整備</li> <li>・老朽化に伴い更新する必要がある漁港施設の長寿命化対策</li> </ul> 以上、水産基盤整備事業等の国庫補助事業を活用して、整備・長寿命化対策を行う。

2. 成果参考指標

(1)	指標名	漁港施設の整備率	年度					単位
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
成果参考指標	式・定義	今年度までの整備延長（面積）／計画総整備延長（面積）	目標値	55.90	75.00	88.00	94.00	%
			実績値	31.00	68.60	83.10	88.00	
				達成率	122.70	110.80	100.00	%
成果参考指標	指標名		年度					単位
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	式・定義		目標値	0.00	0.00			
		実績値	0.00	0.00				
			達成率	0.00	0.00		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,284,227	1,611,470
うち一般財源(千円)	169,807	145,049

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

- ・防波堤等の整備状況は、H26年度末で88%であり、H27年度には、94%までの進捗を予定している。
- ・海上施工時期が限られるため、早期発注に取り組みながら整備の進捗を図る。
- ・国は、国土強靱化に資するため、漁港施設の防災・減災対策を3本柱の一つとして重点的に取り組んでいる。具体的には、漁港施設の地震・津波対策と老朽化した漁港施設の長寿命化対策である。
- ・漁業従事者等が漁業活動を安全で効率的に行えるよう維持していくためにも、漁港施設の長寿命化対策は必要である。また、流通の拠点となっている漁港においては、地震・津波対策を行い大災害発生時に水産活動が休止する事態を未然に防ぐ必要がある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・防波堤などの整備については、地元要望を考慮するとともに緊急性を重視し、流通機能の充実に資する施設等については、優先度を考慮しながら、整備効果が早期に発現されるよう事業計画を策定し実施している。特に大田圏域の流通拠点漁港としての施設整備を行っている和江漁港について、目標とおり進捗している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
  - ・流通の拠点となっている漁港の地震・津波対策が未整備
- ②困っている状況が発生している「原因」
  - ・島根県の構造物設計に必要な津波高設定には時間を要す。
- ③原因を解消するための「課題」
  - ・津波高設定後、単年度で調査・対策工事を行うことは出来ない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・H26年8月に国土交通省が公表した日本海における想定津波のデータを基に、県関係課で県の想定津波高を設定する。
- ・津波高設定までの間、流通の拠点となる漁港の主要な岸壁の耐震診断に着手。
- ・津波高設定後、流通の拠点となる漁港の主要な防波堤・岸壁の耐津波診断に着手。
- ・診断結果を踏まえて、対策が必要な施設については計画的に対策工事を行う。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）